



人文研アカデミー  
2023  
シンポジウム

# 近現代天皇制を 考える学術集会

## 「建国記念の日」に問う

2024年2月11日(日)  
13時30分～18時「対面にて実施」

京都大学人文研本館・総合研究4号館  
共通第1講義室

主催 京都大学人文科学研究所  
お問い合わせ 京都大学人文研アカデミー  
z-academy@zimbun.kyoto-u.ac.jp  
https://www.zimbun.kyoto-u.ac.jp

紙屋牧子 (玉川大学)

「昭和天皇の外遊(1921年)をめぐるイメージ・ポリティクス」

石井美保 (京都大学人文科学研究所)

「慰撫と反覆——歌の〈私〉と天皇制」

福家崇洋 (京都大学人文科学研究所)

「理念としての天皇」論」

高木博志 (京都大学人文科学研究所)

「天皇制と陵墓問題——世界遺産名称「仁徳天皇陵古墳」を問う」

司会：小堀 聡 (京都大学人文科学研究所)




人文研アカデミー  
2023  
シンポジウム

# 近現代天皇制を 考える学術集会

## 「建国記念の日」に問う



檀原宮で初代神武天皇が即位した神話にもとづく「建国記念の日」が、1967年に公布されました。1872年にはじまる戦前の紀元節は、記紀神話に基づく天皇制を、学校行事をはじめ社会へと浸透させる役割を果たしました。「建国記念の日」公布から今日までの56年のあいだに、反対運動が継続する一方で祝日として定着してきました。つねに現代に向き合ってきた人文科学研究所では、この日に近現代天皇制を学術的に考え続けたいと思っています。

紙屋牧子 Makiko KAMIYA  
(玉川大学)

専門：映画学

主著：『皇太子渡欧映画』と尾上松之助・NFC所蔵フィルムにみる大正から昭和にかけての皇室をめぐるメディア戦略『東京国立近代美術館研究紀要』20号、2016年  
「最初の「皇室映画」に関する考察：隠される／晒される「身体」」『映像学』100号、2018年

石井美保 Miho ISHII  
(京都大学人文科学研究所)

専門：文化人類学

主著：『環世界の人類学—南インドにおける野生・近代・神霊祭祀』京都大学学術出版会、2017年  
『たまふりの人類学』青土社、2022年

福家崇洋 Takahiro FUKUE  
(京都大学人文科学研究所)

専門：近現代日本社会運動史、思想史

主著：『日本ファシズム論争』河出書房新社、2012年  
(共編)『思想史講義』筑摩新書、2022、23年

高木博志 Hiroshi TAKAGI  
(京都大学人文科学研究所)

専門：日本近代史

主著：『陵墓と文化財の近代』山川出版社、2010年  
『近代天皇制と伝統文化—その再構築と創造』岩波書店、近刊

小堀 聡 Satoru KOBORI (司会)

(京都大学人文科学研究所)

専門：日本経済史

主著：『日本のエネルギー革命—資源小国の近現代』名古屋大学出版会、2010年  
『緊急沿線の近現代史』クロスカルチャー出版、2018年

